



プレスリリース

2023年12月14日

## マレリ CES 2024 展示 新たなプラットフォームを発表

マレリの「Lean」プラットフォーム上で開発されたシステムは、目的適合性や持続可能性に配慮し、すぐにもローンチ可能。一方、「Advantage」プラットフォームは、マレリのミドルウェア マイクロサービス ソフトウェア アーキテクチャに接続されるクラウドアプリケーションで、より複雑な開発が可能

自動車分野において世界をリードするモビリティ技術サプライヤーであるマレリは、2024年1月9日から11日までネバダ州ラスベガスで開催される CES 2024 のウィンホテルの招待制ブースにおいて、「Lean」並びに「Advantage」と名付けたプラットフォームを発表します。

「Lean」プラットフォームの特徴は、ハードウェアとソフトウェアの両設計へのシンプルなアプローチであり、性能を損なうことなく、標準よりも少ない部品点数、軽量化、低コスト化を実現します。「Lean」プラットフォーム上で開発されるシステムは、主要技術は事前開発であるものの、自動車メーカーが後に特定の機能をカスタマイズする余地は残されています。このモジュールベースのプラットフォームアプローチは、エントリーレベルの車両やブランド、トリムレベルを対象としており、予算重視の消費者やフリート購入者を想定して開発されました。マレリがこのプラットフォーム上で開発した2つのコンセプト「LeanLight」と「LeanDisplay」は、Design for Affordability エリアに展示されます。

マレリが展示する「LeanLight」ヘッドランプとリアランプのコンセプトは、従来のランプに比べて最大20%少ない部品点数、20%の軽量化、6kgのCO<sub>2</sub>排出削減を特徴としています。新しい射出成形プロセスの導入は軽量化とエネルギー消費の削減に貢献し、新たに開発された表面処理ソリューションは化学的コーティングの必要性がないため、持続可能性にも貢献します。

マレリの「LeanDisplay」は、標準的なディスプレイと比較してはるかに低い価格帯で高精度なローカルディミング性能を提供するソリューションで、性能を向上させながらも、40%の軽量化、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減という持続可能性の向上と併せて実現しています。これは、LEDと独自のレンズを組み合わせたバックライト技術の最適化、サプライチェーンの現地化などをはじめとする、60%の部品を削減する製造設計アプローチを採用することによって達成されました。



Amazon Web Service(AWS)を利用するマレリの Digital Twin デモ機は、クラウド上で完全な車両コックピットを再現し、設計、テスト、シミュレーション、機能の展開を迅速化します。接続され仮想化されたコックピットは、市場投入がすぐにも可能なマレリ初の「Advantage」プラットフォーム開発品の1例です。コックピットはコンテナ化されたマイクロ サービス アーキテクチャ上に構築されており、既存の機能に影響を与えることなく、個々の機能を個別に迅速かつ容易にアップグレードできます。このソリューションは、software-defined vehicle の主要な機能となる、ハードウェアポータブルアプリケーションにも対応しています。

マレリは引き続きプラットフォーム戦略を強化し、自動車メーカーがカスタマイズの余地を残しつつ、主要な技術が事前開発されたソリューションを選択できるようにする方針です。

「Advantage」プラットフォーム上では、他のコネクテッドシステムや、設計者向けのスタンドアローン ソフトウェアツールも開発されています。

注：当文書は2023年12月14日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

## マレリについて

マレリは、世界的な自動車モビリティ技術サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客さまやパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 50,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、米州、欧州、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有しています。